

サワイグループホールディングス株式会社

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月13日

東京証券取引所 プライム市場
証券コード:4887

sawai

米国事業を非継続事業に分類

売上収益～税引前利益は、継続事業である日本事業の金額

親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

2024年3月期(2023年度)実績

● 売上収益は前期比8.0%増、コア営業利益は前期比11.7%増

(+)2022年度、2023年度製品の売上増加

(+)低薬価品を中心に原価高騰に伴う影響分を価格に反映

(-)薬価改定の影響による単価下落

(-)エネルギー価格、原薬・資材価格高騰の影響

(-)一部品目の回収に係る費用

● 供給の状況

⇒現在の限定出荷・出荷停止品目数:249品目、通常出荷557品目(5/13時点)

⇒他社供給状況、限定出荷品目の需給・在庫状況等を勘案し随時限定出荷品目の見直しを実施

● 生産数量

⇒23年度の生産数量は委託生産含め約159億錠(22年度実績 約166億錠)

米国子会社の株式等譲渡

● 4月1日(米国時間)にBora Pharmaceutical Holdings, Inc. への譲渡完了

2024年3月期(2023年度) 決算概要

- 売上収益は、2022年度以降発売製品の売上伸長により、前期比8.0%増
- 利益面では原価高騰の影響を受けたものの、増収効果と流通価格政策見直しにより、コア営業利益は、前期比11.7%増

(単位:百万円)

	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	前期比	通期業績予想 (2/14公表分)	同達成率
売上収益	163,702	176,862	+8.0%	180,000	98.3%
コア営業利益	21,428	23,931	+11.7%	23,000	104.0%
コア営業利益 (トラストファーマテックを除く)	26,562	29,830	+12.3%	28,500	104.7%
営業利益	16,054	18,620	+16.0%	20,000	93.1%
営業利益 (トラストファーマテックを除く)	20,898	24,481	+17.1%	25,500	96.0%
税引前利益	15,850	18,262	+15.2%	19,700	92.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	12,667	13,695	+8.1%	-	-
基本的1株当たり当期利益(EPS)	289.25	312.67	+8.1%	-	-
ROE(%)	6.5	6.6	-	-	-

為替レート(期中平均)

1ドル135円

1ドル145円

※1 売上収益～税引前利益は、継続事業である日本事業の金額。親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

※2 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因等による損益を除いて算出

米国事業(非継続事業)の通期業績

- 非継続事業の通期業績は以下の通り

(単位:百万円)

	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	前期比	
			増減率	増減額
収益	36,799	40,254	+9.4%	+3,455
費用	35,859	62,768	+75.0%	+26,909
税引前損失	940	▲22,514	-	▲23,454
法人所得税費用	-	▲18,991	-	+18,991
当期純損益	940	▲3,523	-	▲4,463
親会社の所有者に帰属する当期利益	771	1,016	+31.8%	+245

為替レート(期中平均)

1ドル135円

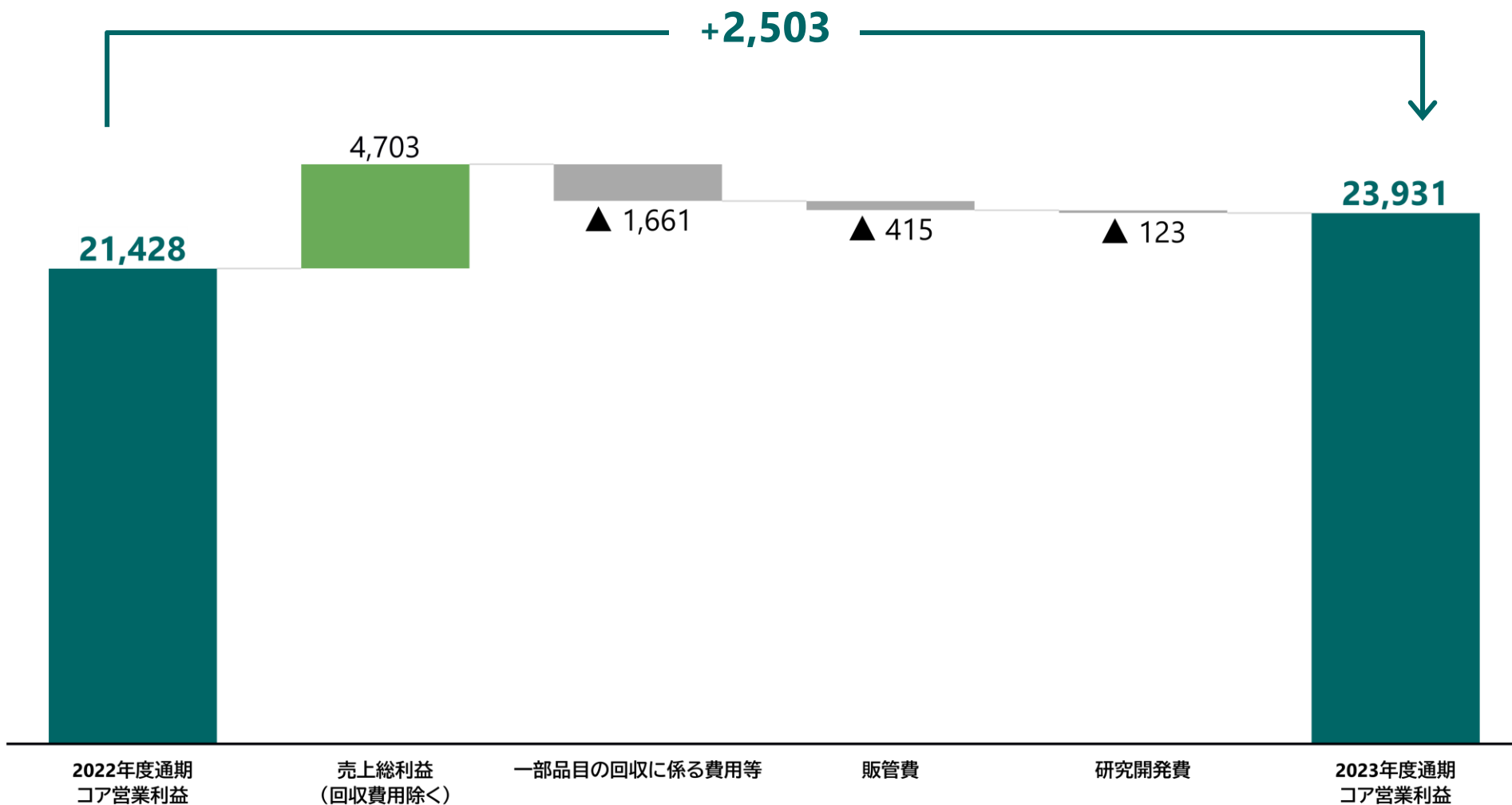
1ドル145円

※ 費用のうち、▲20,918百万円は、非継続事業を構成する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で測定したことにより認識した損失

なお、4月1日(米国時間)にクローリングしたことにともない、2024年度に15,500百万円の非継続事業からの利益を計上予定(米国事業の取得時と売却時の資産・負債に関わる為替相場の変動(バランスシート上の為替換算調整勘定)の損益影響)

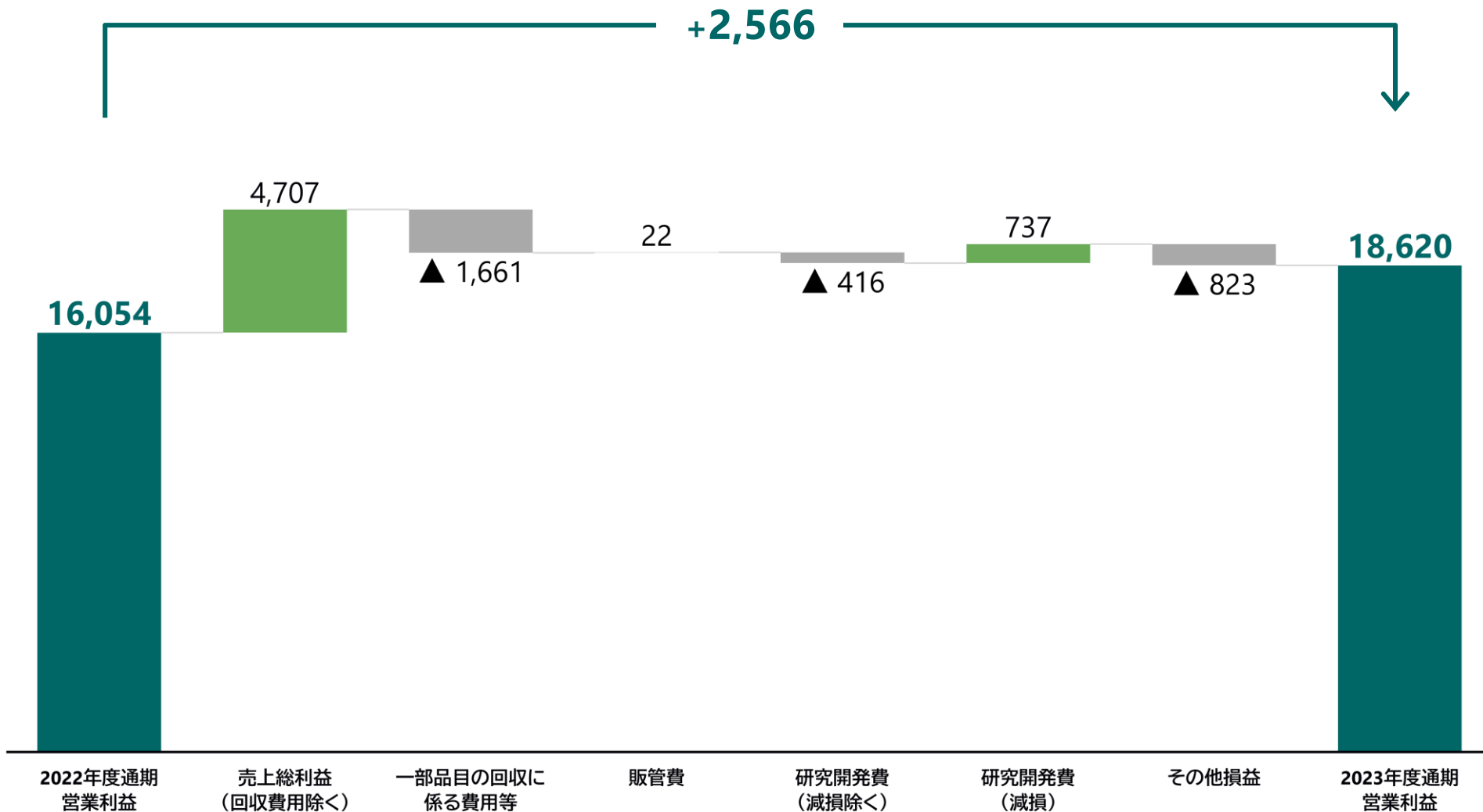
【継続事業】コア営業利益の増減要因

(単位:百万円)



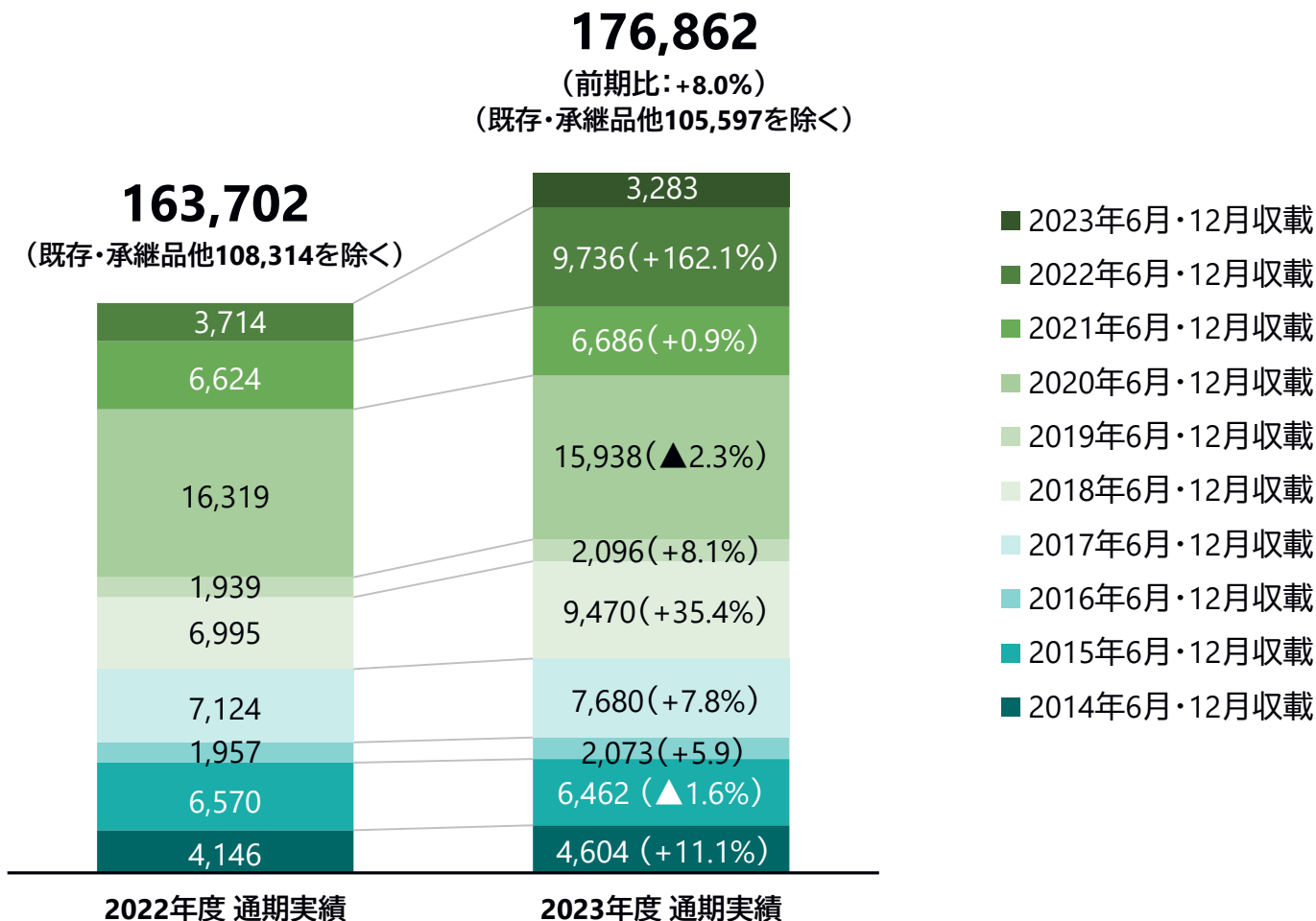
【継続事業】営業利益の増減要因

(単位:百万円)



- 2022年度以降収載品の売上が伸長

(単位:百万円)



バランスシート(クローリング後推計)

- 米国事業売却後は、親会社所有者帰属持分比率、ネットD/Eレシオが改善することを想定

2024年3月末

資産合計 **3,820億円**



米国事業売却後推計

資産合計 **3,605億円**



親会社所有者帰属持分比率 **55.7%**
ネットD/Eレシオ **0.27**

親会社所有者帰属持分比率 **58.2%**
ネットD/Eレシオ **0.08**

※ 米国事業の資産(・負債)の金額は、売却コスト控除後の公正価値に洗い替え後の金額

- 第二九州工場の新固形剤棟の建設含めさらなる生産能力向上のための設備投資を実施

(単位:百万円)

	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	増減額	2023年度通期実績の主な内訳
営業活動によるCF	13,026	23,149	+10,123	<ul style="list-style-type: none"> • 税引前四半期利益 18,262 • 減価償却費及び償却費 18,055 • 棚卸資産 ▲9,168 • 売上債権及びその他の債権 ▲3,930
投資活動によるCF	▲27,134	▲23,112	+4,022	<ul style="list-style-type: none"> • 有形固定資産の取得による支出 ▲17,915 • 無形資産の取得による支出 ▲6,734
財務活動によるCF	▲1,267	2,363	+3,630	<ul style="list-style-type: none"> • 短期借入金の純増 2,848 • 社債の発行による収入9,943 • 配当金の支払額 ▲5,694
現金及び現金同等物の 期末残高	33,076	26,368	▲6,708	
EBITDA(調整後) ^{*2}	33,507	35,943	+2,436	

*1 (EBITDA(調整後)を除き、継続事業と非継続事業合算ベース)

*2 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

2024年度 通期業績予想

- 新製品や主力品の伸長等により売上収益は14.2%増加
- 将来のさらなる成長に向けた人財の採用と育成の強化、第二九州工場新固形剤棟の稼働開始によりコストは増加
- 増収効果によりコア営業利益は17.0%、営業利益は39.6%増加
- 親会社の所有者に帰属する当期利益は、米国子会社売却完了に伴う為替実現益15,500百万円が加わること等により、119.1%増加

(単位:百万円)

	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想	対前期増減率
売上収益	176,862	202,000	+14.2%
売上総利益	54,319	64,000	+17.8%
コア営業利益	23,931	28,000 ^{*1}	+17.0%
営業利益	18,620	26,000	+39.6%
税引前利益	18,262	27,200	+48.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	13,695	30,000 ^{*2}	+119.1%
EBITDA(調整後)	35,943	41,400	+15.2%
EPS(円)	312.67	228.30 ^{*3}	
ROE(%)	6.6	14.0	
ROIC(%)	4.8	10.1	

継続事業

為替レート(期中平均)

1ドル145円

1ドル145円

*1 営業利益から次の項目を調整

2024年度通期予想 研究開発費 2,000

*2 米国事業の非継続事業化による為替換算調整勘定の会計処理により、非継続事業損益が15,500百万円増加

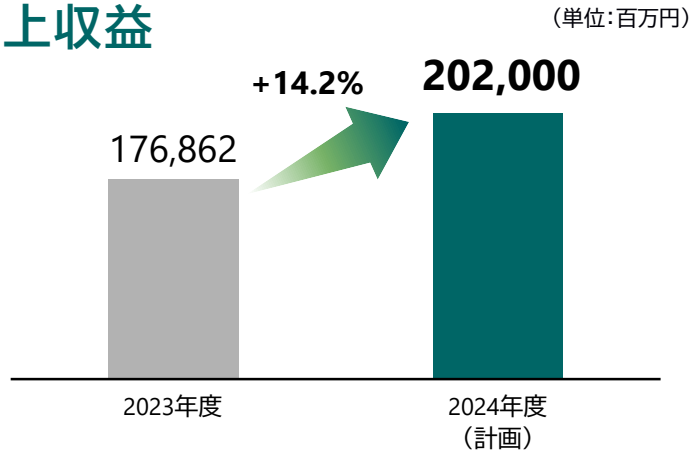
*3 2024年5月13日開催の取締役会において、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。

基本的1株当たり当期利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の基本的1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)で502.25円、通期で684.89円

- 減価償却費の増加等はあるものの、近年上市品の増加等により売上総利益は9,681百万円増加することを想定

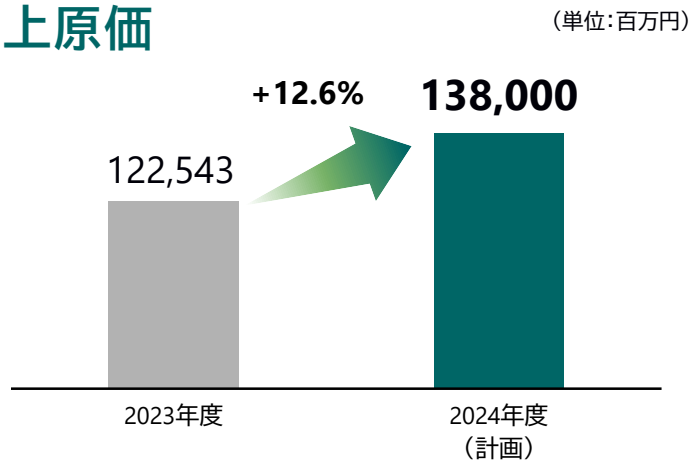
売上収益



売上収益の主な増加要因

- 既存品の売上数量増加影響 +8.9%
(2023年度以降発売製品含め+9.5%)
- 近年上市品の売上増加 +4,500百万円
(2023年度以降 発売新製品)

売上原価



売上原価の主な増加要因

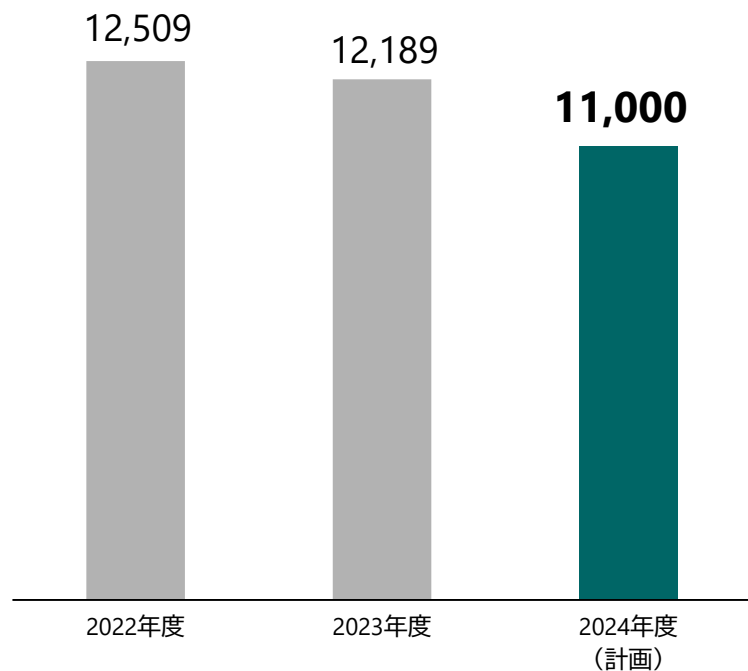
- 減価償却費増加影響 +1,500百万円
(主に第二九州工場新棟の減価償却費)
- 労務費増加 +約3,600百万円 (生産人員約300人増加等)
- 変動費増加 +8,100百万円 (調達コスト増加、売上数量増)

- 2024年度も将来に向けて成長投資を継続

■ 研究開発費

毎年100億円以上の研究開発費を計上し、付加価値の高い製品を開発

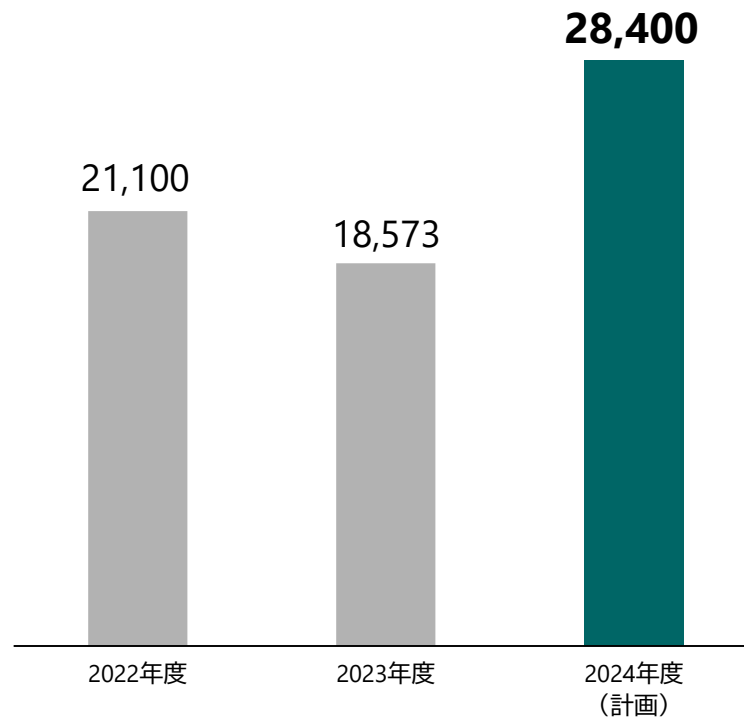
(単位:百万円)



■ 設備投資

生産能力向上のため引き続き284億円の設備投資を実施予定

(単位:百万円)



- 普通株式1株を3株に分割予定(効力発生日:2024年10月1日)
※詳細は本日(5/13)公表の適時開示リリースをご参照ください <https://www.sawaigroup.holdings/ir/news/>
- 2024年度1株当たり配当予想は8期振りに130円から159円へ増配(分割前換算)

■ 株式分割

- 当社普通株式1株につき、3株に分割

基準日	2024年9月30日
効力発生日	2024年10月1日

■ 1株当たり配当金

- 2023年度期末配当及び2024年度配当予想は次の通り
- なお、2023年度期末配当については、6月25日開催予定の当社第3回定時株主総会に付議予定

	2023年度	2024年度(予想)
中間	65円	78円
期末	65円	81円*(27×3円)
合計	130円	159円*(53×3円)

* 株式分割前換算

■ 次期中計期間におけるDOE目標

- DOE目標については、6月公表の中期経営計画において発表予定

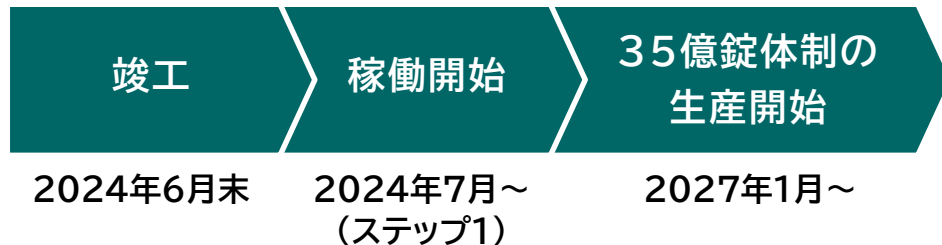
供給能力強化に 向けた取り組み

- 2024年7月稼働開始を予定
- 需要増加に対応すべく2024年度中にステップ2の投資を開始
- 投資完了後の生産能力は35億錠(当初計画30億錠)となる予定

■ 本件の概要

所在地	福岡県飯塚市平恒1144-3
投資額	ステップ1:約370億円 ステップ2:約80億円
生産能力	ステップ1:2024年に20億錠 ステップ2:2027年に15億錠追加 (当初計画10億錠)
人員計画	2024年度:120名増員

■ スケジュール



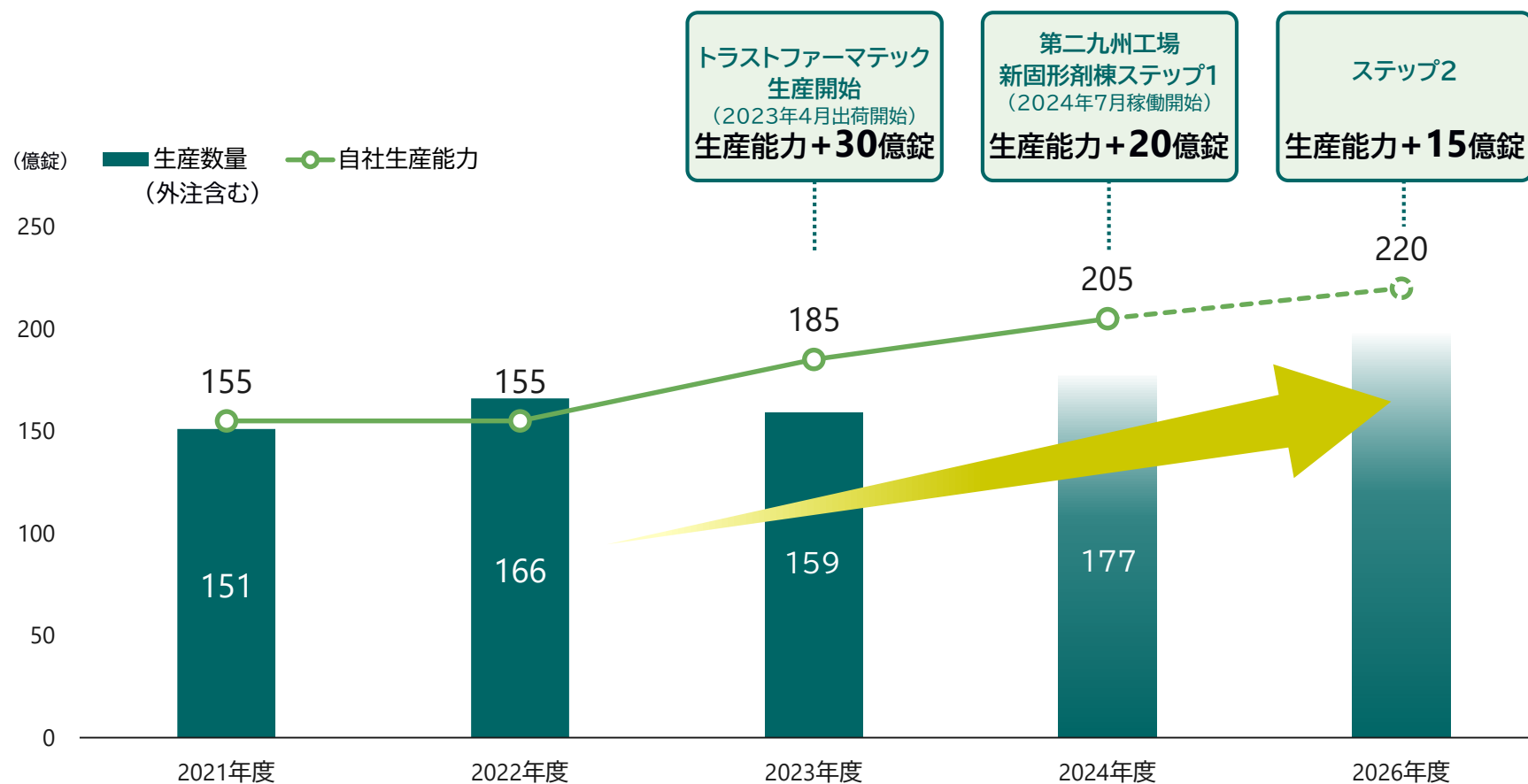
- トラスターマテックにおける稼働率の向上、第二九州工場新固形剤棟の稼働開始によりさらなる増産を目指す

生産数量の見通し

トラスターマテック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品目移管手続きは順調に推移 ・ 生産計画の変更に伴い、今期の生産数量は当初計画を下回る ・ 今期は、約9億錠の生産を計画
第二九州工場 新固形剤棟	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稼働開始は7月を予定 ・ 今期生産数量は3億錠を計画

		2023年度		2024年度 計画
		当初計画	実績	
生産数量(錠)	トラスターマテック	6億	2.4億	9億
	第二九州工場新固形剤棟	-	-	3億
生産品目数	トラスターマテック	9	4	9
	第二九州工場新固形剤棟	-	-	10

- 2024年度の生産数量はトランスファーマテックの増産等で、外注含め約177億錠を計画(前期実績159億錠)
- 需要の増大に対応すべくさらなる設備投資を実施
- 国内GE市場内でのさらなるシェア拡大を目指す



※ 生産能力の前提: 現在の品目数について平日2交代で機械を稼働し続けた場合を想定。外注は含んでいない。

当社子会社における
不適切試験に対する
再発防止策

- テプレノンカプセル50mg「サワイ」の安定性モニタリング溶出試験において、不適切試験が実施されていた事象を受け、社長直轄の企業風土改革プロジェクトをはじめ、関連部門にて下記の再発防止策を着実に実行中

1 企業風土改革プロジェクト

2 既存上市品の製造面及び品質面での再評価とその対策実施

3 沢井製薬生産本部における再発防止策の実施

4 沢井製薬九州工場における再発防止策の実施

5 沢井製薬信頼性保証本部における再発防止策の実施

各取り組みの詳細、進捗状況は当社ホームページにて開示し、定期的に更新中(詳細は下記URLよりご確認ください)

https://www.sawai.co.jp/important_news/detail/17

テーマ	実施事項	2023					2024						
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		
1	法令遵守週刊を設置し(原則毎月3週目)、役員を含む全従業員に業種法、GMP基礎等のコンプライアンス教育を実施												
	再教育や日常の注意喚起を継続することによる法令遵守、コンプライアンス精神の浸透の徹底												
	2023年度の改善活動「M11倶楽部活動」に法令遵守の観点から可能な限り取り組む												
2	2024年度の改善活動「M11倶楽部活動」のテーマを法令遵守とする												
	コンプライアンス委員会の開催頻度を増やし、毎月開催とする												
3	全社レベルでの選材適所登用の推進のための人事制度見直し												
4	社内公募制度、社内兼業制度の導入												
	更なるDX化の推進												
5	情報共有や議論を活性化させるため、社長直轄の情報共有会議を毎月実施する等、会議体の見直しを実施												
	内部通報システムの活用推進強化												
6	GMP違反等も通報対象となることを従業員へ再徹底する等、内部通報システムの理解度を向上させる												
	内部通報システムのアクセス方法の簡素化												
6	タウンホールミーティングの開催等、従業員と社長を含む責任役員の直接対話の場の設定												
	社内イントラで、社長と生産本部長等よりメッセージを定期発信する等、従業員と社長・責任役員との直接対話を促進												

進捗状況を確認できるホームページ画面



社長と従業員の直接対話の場：タウンホールミーティングの様子

新中計の方向性

- 1 信頼回復を第一に掲げ、「Vision 2030」達成に向けた道筋をつける
- 2 国内GE事業において、品質確保と生産能力拡大のために経営資源を集中
当中計期間の成長に加え、次期中計の更なる飛躍に向けた体制を確立する
- 3 長期の成長を見据え、国内GE事業とシナジーが期待できる成長分野への投資を継続
- 4 2024年1月に開示した「事業ポートフォリオと資本政策の見直しの基本方針」を踏まえ、
関連指標を重視した経営を推進

参 考 资 料

- 2成分3品目について薬価収載(6月薬価収載新製品は以下の通り)

薬効分類名	製品名	先発品名
パーキンソン病治療薬/ レビー小体型認知症に伴う パーキンソニズム治療薬 (レボドパ賦活剤)	ゾニサミドOD錠25mgTRE「サワイ」	トレリーフ [®] OD錠25mg
パーキンソン病治療薬 (レボドパ賦活剤)	ゾニサミドOD錠50mgTRE「サワイ」	トレリーフ [®] OD錠50mg
ウィルソン病治療剤(銅吸収阻害剤)／ 低亜鉛血症治療剤	酢酸亜鉛顆粒5%「サワイ」	ノバルジン [®] 顆粒5%

- 2022年度以降発売製品や主力品の売上伸長により採用金額が増加

(単位:軒)

医療機関		2022年度 通期実績		2023年度 通期実績			前期比	
施設区分	全国 総軒数(a)	採用軒数	採用金額 構成比	採用軒数 (b)	カバー率 (b/a)	採用金額 構成比	採用軒数 増減	採用金額 増減率
病院	8,121	8,043	10.2%	8,035	98.9%	11.0%	▲8	+15.6%
DPC 対象病院	1,761	1,759	6.3%	1,757	99.8%	7.1%	▲2	+19.5%
診療所	111,022	44,197	8.9%	44,346	39.9%	8.9%	+149	+7.1%
薬局等	90,439	61,692	79.8%	62,253	68.8%	79.0%	+561	+5.9%
保険薬局	63,858	61,358	79.3%	61,895	96.9%	78.6%	+537	+6.0%
薬店等	26,581	334	0.5%	358	1.3%	0.4%	+24	▲9.5%
その他	-	-	1.1%	-	-	1.1%	-	+2.3%
合計	209,582	113,932	100.0%	114,634	54.7%	100.0%	+702	+7.0%

- 近年上市品や主力品の売上等により、循環器官用薬、中枢神経系用薬、その他の代謝性医薬品は順調に増加

	2022年度通期実績	2023年度通期実績	前期比 数量増減率	前期比 売上額増減率
	構成比	構成比		
循環器官用薬	27.5%	28.3%	+7.7%	+8.1%
消化器官用薬	16.5%	15.6%	▲1.3%	+4.9%
中枢神経系用薬	15.1%	15.1%	+4.3%	+6.7%
血液・体液用薬	8.5%	8.4%	+3.2%	▲2.7%
その他の代謝性医薬品	8.1%	8.3%	+7.3%	+14.7%
呼吸器官用薬	5.6%	5.9%	+10.8%	+15.0%
ビタミン剤	5.6%	5.3%	▲0.9%	▲0.9%
アレルギー用薬	3.6%	3.7%	+8.3%	+6.6%
抗生物質製剤	2.0%	2.1%	+12.1%	+20.2%
その他	7.5%	7.3%	+1.9%	+12.2%
合計	100.0%	100.0%	+4.6%	+8.0%

デジタル・ 医療機器事業

■ SWD001（非侵襲型ニューロモデュレーション機器）

- ・片頭痛急性期治療:医療機器「レリビオン®」が、2023年12月に厚生労働大臣から製造販売承認を取得
- ・うつ病:米国での治験終了後、国内においても薬事申請をすべく検討中

■ SWD002（NASH※1を適応症とする治療用アプリ）

- ・株式会社CureAppとの共同開発及び販売ライセンス契約を締結した治療用アプリについて、2024年1月よりフェーズ3試験を開始

■ SaluDi（PHR※2管理アプリ）

- ・地域医療およびジェネリック医薬品事業との連携強化を目的として医療施設への導入を推進中（2024年4月末現在:1,340件の医療施設で採用）

※1 NASH:non-alcoholic steatohepatitis（非アルコール性脂肪肝炎）

※2 PHR:パーソナルヘルスレコード

健康食品事業

■ sawaiすこやか応援団（機能性表示食品）

- ・「トリプル生活習慣」、「くっきりカアイ」の2製品を販売中
- ・引き続き未病・予防領域における商品やサービスの開発に取り組む

新薬事業 （オーファン疾患）

■ 希少疾患用医薬品（オーファンドラッグ）

- ・社内の評価体制を強化し、継続してパイプライン拡充を検討中

純損益計算書項目

(単位:百万円)

	2022年度 実績		2023年度 実績			2024年度 業績予想				
	通期	売上比	通期	売上比	前期比	上期	売上比	通期	売上比	前期比
売上収益	163,702	100.0%	176,862	100.0%	+8.0%	99,000	100.0%	202,000	100.0%	+14.2%
売上原価	113,450	69.3%	122,543	69.3%	+8.0%	66,500	67.2%	138,000	68.3%	+12.6%
売上総利益	50,252	30.7%	54,319	30.7%	+8.1%	32,500	32.8%	64,000	31.7%	+17.8%
販管費	22,245	13.6%	23,244	13.1%	+4.5%	13,500	13.6%	27,000	13.4%	+16.2%
研究開発費	12,509	7.6%	12,189	6.9%	▲2.6%	5,400	5.5%	11,000	5.4%	▲9.8%
その他の収益・費用	557	0.3%	▲267	-	-	-	-	-	-	-
コア営業利益	21,428	13.1%	23,931	13.5%	+11.7%	14,600	14.7%	28,000	13.9%	+17.0%
コア営業利益 (トラストファーマテック除く)	26,565	16.2%	29,830	16.9%	+12.3%	-	-	-	-	-
営業利益	16,054	9.8%	18,620	10.5%	+16.0%	13,600	13.7%	26,000	12.9%	+39.6%
営業利益 (トラストファーマテック除く)	20,898	12.8%	24,481	13.8%	+17.1%	-	-	-	-	-
税引前利益	15,850	9.7%	18,262	10.3%	+15.2%	15,100	15.3%	27,200	13.5%	+48.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	12,667	7.7%	13,695	7.7%	+8.1%	22,000	22.2%	30,000	14.9%	+119.1%
EBITDA(調整後)*2	33,507	20.5%	35,943	20.3%	+7.3%	21,300	21.5%	41,400	20.5%	+15.2%

*1 売上収益～税引前利益は、継続事業の金額。親会社の所有者に帰属する当期利益は、継続事業及び非継続事業を合算した金額を表示

*2 コア営業利益+コア営業利益算出上マイナスされる減価償却費及び償却費・減損損失

■ 経営指標

	2022年度通期実績	2023年度通期実績	2024年度通期予想
ROE(%)	6.5	6.6	14.0
ROIC(%)	4.9	4.8	10.1
基本的1株当たり当期利益(円)	289.25	312.67	228.30*1
(希薄化後)(円)	288.60	311.79	-
1株当たり配当金(円)	130.00	130.00	159.00*2(53×3)

*1 基本的1株当たり当期利益は、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定。

なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の基本的1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)で502.25円、通期で684.89円

*2 株式分割前換算

■ 財政状態計算書項目

(単位:百万円)

	2023年3月末	2024年3月末
資産合計	364,165	382,024
資本合計	212,738	218,030
親会社所有者帰属持分比率	55.4%	55.7%
ネットD/Eレシオ*3	0.20	0.27

*3 (有利子負債-現金及び現金同等物)÷親会社の所有者に帰属する持分合計

■ キャッシュ・フロー計算書項目

(単位:百万円)

	2022年度通期実績	2023年度通期実績
営業活動によるCF	13,026	23,149
投資活動によるCF	▲27,134	▲23,112
財務活動によるCF	▲1,267	2,363
現金及び現金同等物の期末残高	33,076	26,368
フリーキャッシュフロー (営業CF+投資CF)	▲14,108	+37

■ フルベースからコアベースへの調整について

(単位:百万円)

	2022年度通期実績			2023年度通期実績		
	フルベース	調整	コアベース	フルベース	調整	コアベース
売上収益	163,702	-	163,702	176,862	-	176,862
売上原価	▲ 113,450	48	▲ 113,402	▲ 122,543	43	▲ 122,500
その他	▲ 48	48	-	▲ 43	43	-
売上総利益	50,252	48	50,300	54,319	43	54,362
販管費	▲ 22,245	806	▲ 21,439	▲ 23,244	369	▲ 22,875
無形資産の償却費	▲ 595	595	-	▲ 339	339	-
その他	▲ 211	211	-	▲ 31	31	-
研究開発費	▲ 12,509	5,076	▲ 7,433	▲ 12,189	4,632	▲ 7,557
償却費	▲ 1,580	1,580	-	▲ 1,820	1,820	-
減損損失	▲ 3,464	3,464	-	▲ 2,727	2,727	-
その他	▲ 33	33	-	▲ 85	85	-
その他の収益	730	▲ 730	-	189	▲ 189	-
その他の費用	▲ 174	174	-	▲ 456	456	-
営業利益	16,054	5,374	21,428	18,620	5,312	23,931

※ 継続事業の金額

研究開発費・販売管理費

(単位:百万円、%)

	2022年度実績		2023年度実績			2024年度予想	
	通期	売上比	通期	売上比	前期比	通期	売上比
研究開発費	12,509	7.6%	12,189	6.9%	▲2.6%	11,000	5.4%
広告宣伝費	1,151	0.7%	901	0.5%	▲21.7%	800	0.4%

設備投資額・減価償却費

	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想
設備投資額(投資ベース)	21,100	18,573	28,400
減価償却費(固定資産・無形資産)	14,255	14,171	15,600
生産	9,157	9,500	11,000
研究・開発	2,895	2,966	3,200
管理・営業	2,202	1,705	1,400

※ 継続事業の金額

人員情報

	2022年度		2023年度	
	3月末人数	構成比	3月末人数	構成比
生産	2,015	68.4%	2,097	69.0%
研究・開発	295	10.0%	297	9.8%
管理・営業	634	21.5%	643	21.2%
(MR)	375	-	376	-
合計	2,944	100.0%	3,037	100.0%

- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。
- 潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

サワイグループホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報・IRグループ



ir@sawai.co.jp



06-6105-5823